

安全人報誌

安衛委 No125
平成24年6月21日
安全衛生推進委員会

全国安全週間

建設業による平成二三年度の労働災

害による死者数は三四二人となり、平成二二年の三六五人を下回り、過去最小となりましたが、死傷災害は前年と比べ九七四人の増加となつてしまいました。また、東日本大震災の災害復旧・復興工事関連では、死傷災害が三八五人、うち死者は二一人となつており今後も増加が懸念される状況となつております。

全国安全週間は、労働災害のない安全で働きやすい職場をつくるための週間であり、この週間を契機として自分の身体は自分で守るという、安全の



基本をあらためて認識し、一人ひとりが安全な作業を心掛けて頂きたいと思

◎安全週間

七月一日から七月七日まで

◎準備期間

六月一日から六月三十日まで

平成二十四年度安全標語
「たぶん・だろう」は
事故のもと
確認忘れず安全作業

平成二十四年度安全標語
きれいな現場を心掛け
スムーズな作業で
ゼロ災害

平成二十四年度安全標語
迷いません
安全への道は
日々点検

熱中症に注意

毎日の作業の前に、睡眠時間、食事の

摂取状況などをチェックし、作業員の健康状態を確認し、アルコールを過剰に摂取した人は脱水状態になりやすいので、特に注意が必要です。作業時の飲み物は身体を冷やすために飲むのではなく、汗で失われた成分を補給するために飲むので、塩分も一緒に補給しましょう。帰宅後には、十分に休養をとり、翌朝までに体温を正常化する必要があります。飲酒により脱水に陥ったり、夜遅くまで起きていて、いたずらに産熱を増加させてはいけません。特に翌日の作業までにアルコールが完全に抜けていないようにしなければなりません。作業当日は、必ず朝食を摂りましょう。



作業当日は、必ず朝食を摂りましょう。

各現場での安全対策又はヒヤリ体験談

今回は、市町村合併支援道路整備工事を担当しました三浦明裕さんです。

私が入社して、最初の担当工事というこ
とで、気合十分でしかし気合だけでカラ回
りしない様、慎重にスタートしました。現
場は、道幅が狭いものの、大型トラック
トレーラーが頻繁に通行する主要道路で、

活動から、常に緊張感を保ち、声をかけ

合い、合図を徹底し共に現場作業と安全対策を行つた皆さんに感謝します。ありがとうございました。



当初の工程通りに進める事はできず、先に舗装工事を行っていた、新設部の開通や水道新設工事を優先しての現場運営を強いられ、何度も工程の見直しを行いました。一見、虫食う様に作業をしていると見た方もいるかも知れませんが、少しでも現場を前に進めることを考えた結果でした。今回大きな事故はありませんでしたが、ヒヤリ、又ハットしたことは、何度かありました。大型通行車の脇で重機が動くわけですから、毎日のKY